

第4回 医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ 議事概要

1 開催概要

「第4回 医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ」については、新型コロナウイルスによる感染症拡大予防策の一環として、以下の日程で書面開催とした。

日 程：令和2年3月13日（金）～3月24日

送付先：（構成員）

内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官補佐（被災者行政担当）
厚生労働省 大臣官房厚生科学課健康危機管理・災害対策室長
医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長
医政局地域医療計画課在宅医療推進室長
健康局健康課地域保健室長
医薬・生活衛生局総務課医薬情報室長
社会・援護局福祉基盤課長
社会・援護局障害保健福祉部企画課課長
老健局振興課長

（参考人）

芝浦工業大学 准教授 市川 学
浜松医科大学 教授 尾島 俊之
京都経済短期大学 専任講師 菅野 拓
全国社会福祉協議会 部長 鈴木 史郎

2 議事概要

第3回「医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ」までに議論を行った「被災者アセスメント調査票」、「施設・避難所等ラピッドアセスメントシート」、「ICTを活用した要支援避難者の迅速的・包括的な情報把握システム（イメージ）」について、構成員及び参考人からの御意見等を踏まえて修正した。主な修正点は以下のとおり。

【被災者アセスメント調査票について】

- 冒頭及び末尾に調査票の使用目的及び使用範囲に関する文章を追加した。
- 「1 被災状況」においては、被災により使用できなくなったライフラインの選択肢を追加したほか、家屋（建物）の被害状況を具体的に把握する目的から自由記載欄を追加した。また、避難所の利用については、「2 現在の御自身の状況や、御自身と一緒に避難している御家族の状況」へ移行した。

- 「2 現在の御自身の状況や、御自身と一緒に避難している御家族の状況」においては、平時の医療や公的サービス等の利用状況を把握する観点から定期的な投薬の状況、医薬品の名称、かかりつけの医療機関の名称、障害等手帳の種類等を追加した。また、デイサービス・ヘルパーなどの公的サービスを利用されている場合は、今後の利用の見通し及び事業所の名称を追加した。さらに、詳細なアセスメントを行うために、食物アレルギーの原因食物及びその他の自由記載欄を追加した。

【施設・避難所等ラピッドアセスメントシートについて】

- 避難者の中には車中泊をしている者も想定されることから、車中泊の人数を追加した。また、避難所の環境においては、感染症やプライバシー保護の観点から感染予防・清掃用物品、パーテーションによる区切りを追加した。

【ICT を活用した要支援避難者の迅速的・包括的な情報把握システム（イメージ）について】

- 意見なし

以上